

銀漢亭日録



伊藤伊那男

5月3日(火) ▼六月号の会員評、大澤さんへ送る。十四時、太田うさぎさん宅へ。「銀漢亭」アルバイトとコアな客の集い。料理と酒を持ち寄り。十五人。二十時過ぎまで。皆、よく飲む。これで連休の前半終了。

4日(水) ▼四月の店の月次表。あつ、大変！ 月末の支払い忘れていた！ 雑用や礼状。終日家。

5日(木) ▼同人評、彗星集評仕上げ、送付。やつと六月号の原稿終了。十四時、杏一家来てガーデンパーティー。バーベキューなど。十二人。

6日(金) ▼十時、トヨシマクリニックにて胃カメラ検査。久々店。「大倉句会」あと二十一人！

7日(土) ▼十時、玉川学園前駅。「早蕨句会吟行会」に呼んで戴く。男十二、女十四人。玉川大学キャンパスに始まる尾根道を散策し鶴川の谷戸へ抜ける。新緑の田園風景佳し。農家の筍、筍飯など買う。鶴川の「山内農場」という店を開けてもらい昼食、句会など。十七時前から宴会。武田、杉阪さんも同道。「早蕨句会五周年記念号」も出て和気藹々。あと寿司店で二次会の接待を受ける。久重さんに感謝。

8日(日) ▼連休の疲れが出たか、十時間ほど寝た様子。礼状、通信。畔柳海村句集の句稿再点検。

9日(月) ▼店、群馬の鈴木踏青子さん、学士会館のパーティーの途中に抜け出して寄って下さる。お元氣。発行所「かさ、ぎ俳句勉強会」、あと十二人。今日は上田五千石の句の勉強会と。雨となる。

10日(火) ▼「火の会」九人。他、閑散。

11日(水) ▼発行所「梶の葉句会」選句。夜は「ささらぎ句会」、あとと店へ十一人。国会議員のT先生。伊那の小池君。駒ヶ根出身の後

プいくつか取ったと。帰宅してお粥。雨。店、毎日新聞の鈴木琢磨記者、熊本ミュージシャンと。

18日(水) ▼畔柳海村句集の序文七枚ほど。鈴木忍さんの手伝い日。NHK O Bの水津さん、今井聖、水内慶太、合谷美智子、今泉礼奈、松川洋酔さん。出版関係社の方……その他。「三水会」六人。「宙句会」十三人。

19日(木) ▼ヘアメイクの中川さん来てくれて調整。「銀漢句会」あと十七人。

20日(金) ▼「蕨句会」あと五人。奈良の深川知子さん、弟の入沢さんと。あとは閑散。

21日(土) ▼正午、丸の内の日本工業倶楽部にて復本一郎さんの「鬼」二十周年記念祝賀会。俳文学者や太田治子さんなど俳人のパーティーとは少し違う顔ぶれ。十五時過ぎ、日本橋「鯨の与志喜」に滑り込み、「纏句会」選句。鯉の叩き、金目鯛煮付、穴子焼、握り。三越一階ホールにて宮澤の写真展開催中にて皆で見学。あと有志でワインレストラン。帰宅すると、幼稚園の運動会あと四家族位が集まっており、参加。いやいや昼から飲み続けの一日。

22日(日) ▼休養日。寝たり起きたり選句したり。「俳句」七月号に十六句出句(主に御柱祭)。

23日(月) ▼三輪初子さん夫妻、宮澤の写真展あと寄って下さる。池田のりを、敦子、清人、羽衣衣さんなど。閑散。

24日(火) ▼「萩句会」選句。店、伊那北高校九年先輩の市川さん、漫画家の橋爪まんぶさんなど五名。対馬康子さん久々。山田真砂年さん。全体閑散……ああ……。

25日(水) ▼N Y在住の月野はなさん、伊那北の仲間(私より十六歳下)五人ほど。先輩の井ノ口さん、北村監督、井蛙さんも加わる。「雛句会」十三人。その他賑わう。久々。

27日(金) ▼十四時、鳥居真里子さんの「門」同人会に発行所貸し出

輩、落語家真打の春風亭愛橋君と。水内慶太さん一派などなど。

12日(木) ▼発行所「十六夜句会」あと十一人。広渡敬雄さん五人。清人、洋、宗一郎、麒麟、岡山の黒岩君。皆川文弘さん。賑わう。「現代短歌新聞」五月号の「視点」の欄に田村元さんが「歌人酒場待望論」を書き、その中で、俳句の「銀漢亭」のような店が歌壇にも欲しいと。

13日(金) ▼閑散。仙台の浅川芳直君(「駒草」)、「群青」「いつき組」の幌谷魔王さん。二人とも学生。訪ねて来てくれる。

14日(土) ▼快晴。十時、運営委員会。十一時、(株)北辰社株主総会。十三時、ひまわり館にて「銀漢本部句会」、五十八人。あと、テング酒場に二十人程、親睦会。畔柳海村さんの句集の打合わせと序文書くのに当たつての聴取。武田編集長、馬場龍吉さんと共に。

15日(日) ▼宮澤、富山の美術館の写真展から戻り、新宿で映画のトークショー。折り返し富山へ。G7環境大臣会議絡みの企画。海村句集の序文の構想、エッセイなど。疲れがたまっていた寝たり起きたり。十六時、桃子が早い夕食にして飲もう！ というので、カラスミ、鮪、明日葉、とろろ芋など用意。酔いが早く寝る。

16日(月) ▼明日、大腸内視鏡検査にて食物注意せねばならぬ。店、「演劇人句会」十一人。「橘」の佐怒賀直美主宰、「海程」の五島高資さん、他五名で、神田明神の薪能見たあと寄って下さる。五島さんと話すのは初めて。今日はお粥少々。酒飲まず。

17日(火) ▼堀切克洋君が中村草田男のご息女・弓子さんと会ったというので、私の叔父・池上樵人が草田男の弟子だったと伝えてくれと言うと、最早、弓子さんから「なんと、なんと、池上樵人さんは私の幼年時代から大学生の弟子として拙宅に入入りしていらつしやり、亡くなられるまで近しい方で、言つてみれば、親戚の叔父さんというような感じの親しい方でした」との返信あったと。昼、トヨシマクリニックにて大腸内視鏡、二十数年ぶり。ポリー

し。十六時、「春耕鳥山句会」の面々八名来店。かねてから銀漢亭へ来たかったと。嬉しい事。杉阪さん指導の会。皆川文弘さん、六月号の盤水先生のルーツのエッセイ読んだと。「金星句会」あと七名。半田けい子さん句友の橋本さんと。

28日(土) ▼金融会社時代の同窓会。去年は三十六人集まったが、さすがに今年は十五人。その分、思い出話にも熱が入る。十五時から二十時過ぎまで盛り上がる。片付けた後、割烹Kに寄り、エッセイの構想など。こういう時間が好きである。

29日(日) ▼十三時より、「草樹」創刊五周年祝賀会。アルカディア市ヶ谷。武田編集長と。十六時から二次会もあり酩酊。

30日(月) ▼店、藤森壮吉さんの「閑会」八名。広渡敬雄さん、青木さん、忍さん他。登山打ち合わせと。水内慶太、水香さん。山田真砂年さん。

31日(火) ▼九時過、トヨシマクリニック。胃・腸検査の所見。胃はピロリ菌発生。腸はポリープ七つ取ったが良性。あと血糖値要注意の他はOK。検査、意義あったと。ピロリ菌退治の投薬受け、一週間禁酒の要あり。さて、いつから始めるか非常に難しい設定である。先日、漫画家集団の展示会でクミタリユウさんが私の似顔絵に〈豆撒くや身に一匹の鬼育て 伊那男〉を添えた作品の展示あったと聞いたが、何とその現物が届く。私が句を入れるためのものも含め三枚。毎日新聞鈴木琢磨記者。夕刊の「人生は夕方から楽しくなる」の企画で私を取材したいと。金曜日、カメラマンと来る事に。1頁、カラー写真入りと。松川洋酔さん七十三歳誕生祝。二十七人集合。水内慶太さんも。その慶太さんから月山筍到来。柴山つぐ子さんから野蒜と露到来。柚口満さんから青山椒。